第2期桜井市観光基本計画　概要版

1.計画策定の背景・目的・位置づけ・期間

第１期桜井市観光基本計画を策定した平成23年度から10年が経過し、人々の観光ニーズの多様化や情報通信技術等の発達により、観光を取り巻く環境は大きく変化しました。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、観光に限らず働き方・人との繋がり・健康など生活様式の変化を余儀なくされています。また、４年後の令和７年大阪・関西万博では、本格的な国内外観光の急増が期待されています。

桜井市ではこのような状況を踏まえ、目まぐるしく変化する社会状況・観光ニーズに対応すべく、観光における目指すべき将来像を改めて設定し、より効果的な観光関連施策を示す第２期桜井市観光基本計画を策定するものです。

計画の期間は、令和４年度から令和８年度の５年間とします。

計画の位置づけ

第６次桜井市総合計画
↓
第２期桜井市まち・ひと・しごと創生総合戦略
↓
第２期桜井市観光基本計画

○桜井市景観計画
○桜井市都市計画マスタープラン
○桜井市地域防災計画
○桜井市歴史文化基本構想

2.桜井市の現状と課題

現　状	課　題
①市内に豊富に存在する歴史文化遺産・自然資源等が効果的に観光に活かされていない。	①歴史・自然資源等を活かした「聖地」「文化」といった価値の保存・継承と活用
②奈良県全体として、他地域に比べ滞在時間が短く、観光消費単価が低い	②ほんものを感じる体験型観光の強化
③観光ニーズの多様化により、社寺・遺跡・ハイキング等コンテンツごとにファンが細分化している	③時代のニーズを捉えた観光商品の展開
④新型コロナウイルス感染症の流行により観光客が減少している	④「安全・安心」と「多様性」への対応
⑤観光における官民の連携不足及び市民参加が弱い	⑤市民の愛着醸成や関係人口の増加など市の活力につながる観光の展開

3.目指すべき将来像

自然につつまれ、神を感じて、
御仏に会える癒やしの里“桜井”

古代の日本＝大和の国の中心地として選ばれた、文化に裏付けられた自然。
古事記や日本書紀にも記された、日本最古の神社のご神体「三輪山」に鎮まる国造りの神。
市内の多くの御寺におわす、国宝として指定された観音菩薩に代表される御仏。
桜井は古代より続く自然の姿と信仰、歴史や食文化といった人々を癒やす資源を有しています。
“モノ”から“コト”を重視する流れの中で、これらの個性は国内外から人々をひきつけることから、
桜井ならではの「癒やしの里」をテーマにしたオンリーワンの地域創造を展開します。

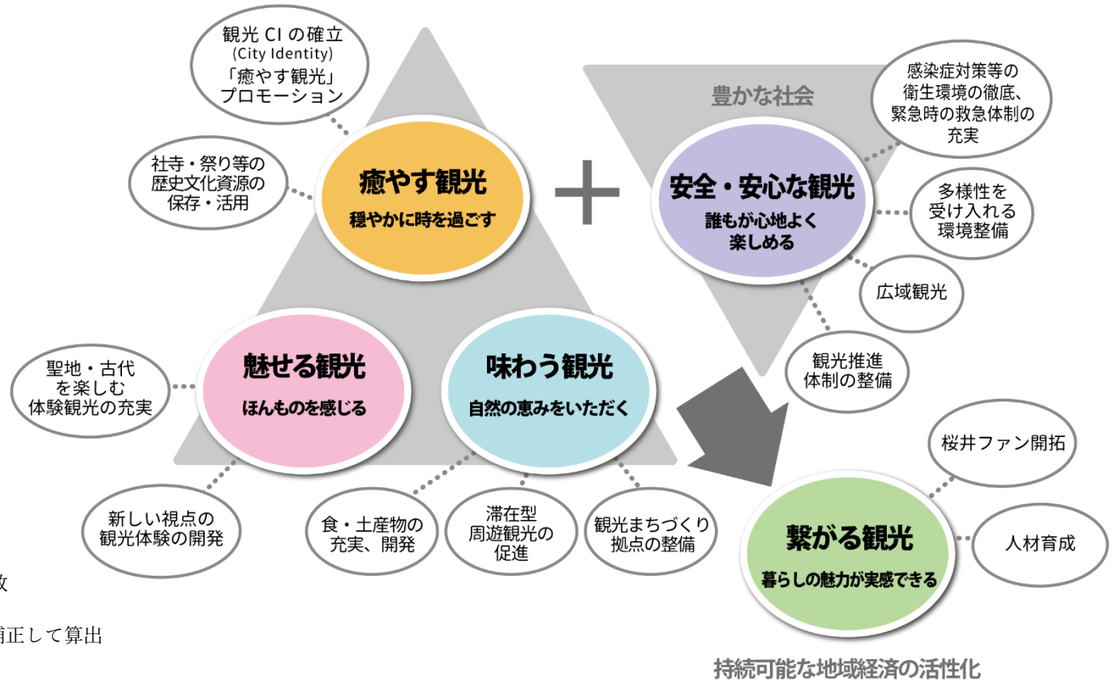
4．５つの基本方針と施策

将来像を目指すにあたっての基本理念

「癒やしの里」として心を豊かにする「**癒やす**」「**魅せる**」「**味わう**」観光を展開するとともに、市民、事業者、行政が一体となって多様性に富んだ**安全・安心**に観光できる「豊かな社会基盤」を形成します。これにより、市民はもとより多くの人が「桜井ファン」となって市内各所で多様な活動を展開する「**繋がる**」観光を盛んにして、**持続可能な地域経済の活性化**につなげます。

また、地域愛を深めた「繋がる観光」の展開状況を図る成果指標として、『癒やしの里　桜井”PR事業累計数※1」を計画終了年度の令和８年度には20件に、「桜井ファンの数※2」を令和２年度が2,450千人から4,632千人に、地域経済活性化の達成度を測る成果指標として「観光消費額※3」を、75億円から150億円にすることを目標とします。

基本理念に基づく５つの基本方針と施策



※１：計画期間内に実施した“癒やしの里　桜井”をPRするための事業を累計した数
※２：桜井市への来訪者数の中で、特に観光を目的として来られている方や、イベント参加者、SNSフォロワー、ふるさと納税者数等を加えた人数
※３：観光消費額⇒観光消費算出対象者数（a）　×　観光客消費単価（b）
（a）桜井市への来訪者数の中で特に観光を目的として来られている方の人数　（b）奈良県が実施する観光パラメータ調査の結果を市内特性で補正して算出
（各指標の詳細な算出方法・数値根拠は別冊資料参照）

5.施策と事業

自然につつまれ、神を感じて、御仏に会える癒やしの里“桜井”

基本方針

癒やす観光
穏やかに時を過ごす

「癒やす観光」は桜井観光のシティアイデンティティとし、プロモーションを展開する。
また、社寺・祭り等歴史文化資源の保存と活用を行う。

魅せる観光
ほんものを感じる

「聖地」「古代」をテーマに体験を重視した観光商品の充実に取り組むとともに、新しい体験型観光商品の開発を推進する。

味わう観光
自然の恵みをいただく

心身の健康に着目して各地域の特性を打ち出した商品の開発や観光商品化（食・お土産）の展開を推進する。
また、これらの商品をたくさん楽しんでいただけるよう、滞在型の周遊観光の促進や観光拠点周辺が一体となったまちづくりに取り組む。

＋

安全・安心な観光
誰もが心地よく楽しめる

事業者を中心に地域一体で感染症対策をはじめとした安全・安心の観光地づくりを進めるとともに、多様性を受け入れる環境整備を進める。
周辺地域との連携強化による広域観光の推進と、観光振興の取組を進める市全体の観光振興体制の整備・充実を進める。

→

繋がる観光
暮らしの魅力が実感できる

桜井に興味を持った「桜井ファン」が、地域愛を深め、新たな観光を創造できる取り組みを進める。
また、人材を育成し、持続可能な地域経済の活性化に繋げる。

施策事業

癒やす観光

1. 観光 CI（City Identity）を確立する「癒やす観光」プロモーション

①既存の「癒やす観光」コンテンツを整理
②新規の「癒やす観光」コンテンツ造成の促進
③「癒やす観光」の PR 展開
④「癒やす観光」PR の総括イベントの実施

2. 社寺・祭り等歴史文化資源の保存・活用

①地域の文化の保護・継承の取り組み
②纒向遺跡の整備・保存・活用
③文化財の保護、歴史的風土や景観の保全・修復

魅せる観光

1. 聖地・古代を楽しむ体験観光の充実

①山の辺の道を核とした着地型観光の推進
②専門性の高い体験型観光コンテンツの開発

2. 新しい視点の体験型観光の開発

①新たな体験型観光コンテンツの検討･造成

味わう観光

1. 食・土産物の充実、開発

①特産品の開発及び特産品を活用した誘客促進
②農産品の開発補助・啓発
③三輪そうめんの啓発
④ふるさと納税の推進

2. 滞在型周遊観光の推進

①滞在型観光の推進
②周遊観光の推進

3. 観光まちづくり拠点の整備

①桜井駅周辺地区のまちづくり
②長谷寺門前町周辺地区のまちづくり
③大神神社参道周辺地区のまちづくり

安全・安心な観光

1. 感染症対策等の衛生環境の徹底、緊急時の救急体制の充実

①感染症対策等の衛生環境の徹底
②緊急時の救急体制の充実

2. 多様性を受け入れる環境整備

①利便性向上のための環境整備
②外国人観光客に対応した環境の整備
③快適に観光を楽しむことができる観光案内

3. 広域観光

①世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会事業
②市外団体との各種連携事業
③奈良県との観光連携事業

4. 観光推進体制の整備・充実

①（一社）桜井市観光協会との連携
②桜井市観光ボランティアガイドの会との連携
③桜井観光案内所の運営
④初瀬観光センターの運営

繋がる観光

1. 桜井ファン開拓

①桜井ファン開拓のための情報発信
②桜井市マスコットキャラクター「ひみこちゃん」の活用
③マスメディアを活用した効果的な情報発信
④観光 DX の推進

2. 人材育成

①観光人材の育成
②観光関連団体及び事業者との連携強化